



進路だより

2023. 10. 1

第 6 9 号

香川東部支援学校
進路指導部

『 余暇を楽しくすごそう 』

校長 田中 豊

みなさんは「余暇」という言葉をどう捉えていますか。高等部生徒のみなさんは、職業などの授業の中で余暇や余暇の使い方について学習していますね。余暇の「暇」とは「ひま」とか「いとま」とも読み、何もせずに「ゆっくりする」「伸び伸びとすごす」という意味もあるようです。つまり余暇とは、仕事や家事、育児など労働という時間から自分を解放して、好きなことをしたり、何もせず、ただだらとすごしたりする時間ということでしょうか。みなさん、今日一日の生活を振り返ってみて、「余暇」はありましたか。今日はそんな「ひま」などなかった…という人も多いかもしれませんね。

人が長い人生を生きていくうえで、「余暇」というのは大切な時間です。余暇の時間をどのように使うか、それは人それぞれです。ここで少し私の「余暇」についてお話しします。

今から 40 年前、昭和 58 (1983) 年のことになりますが、私は大学に入学後、学内の少林寺拳法部という部活動に入部しました。高校時代に少林寺拳法を習っているという友人がいて、少なからず興味は持っていました。大学の入学式を終えて数日も経たないある日、広い構内を物見遊山で歩いていると、「岡大少林寺拳法部」と墨で書かれた古めかしい看板が目につきました。その看板が掛かった道場を覗いてみると、角刈りの頭にちょっと怖そうな輩が白い道衣に黒や茶色の帯を締めて、二人一組になり気合を出して突き合ったり蹴り合ったりと、少々殺気めいた感じさえしました。一人の黒帯を締めた人が私に気づくと、今まで怖そうに見えた顔が急ににこやかになり、組んでいた相手と合掌礼をしたあと私に近づいてきました。何も言わないと失礼と思い、「こんにちは。」と挨拶をすると、「新入生？見学していったらどう？」と笑顔で私を道場に招き入れ、断るすべもなく見学することになりました。しばらく稽古を見てみると、別の黒帯を締めた人が古い道衣と白帯を持ってきて「君の体格からしてこれでちょうど合うかなあ。ちょっと着替えてやってみる？」と言われました。言われるがまま道衣を着て…、そのまま入部の運びとなりました。結局、大学の 4 年間、この少林寺拳法部で汗(と涙とたまに血)を流すことになりました。

非常に中身の濃い大学少林寺拳法部での 4 年間を過ごし、頭の中では完全燃焼で終わっていたので、卒業後はもう少林寺拳法はしないと心の中で誓っていましたが、地元に戻ってからたくさんのご縁があり、40 年経った今も現役で続いています。長く続けていると、自分自身の修行だけではなく少林寺拳法の大会や関連する行事などの運営にも携わるようになり、私の余暇はほとんどそれで埋まっています。身体は疲れることもありますが、気持ちはいつもポジティブです。なぜそこまでするのと問われれば、やはり少林寺拳法が好きとしか言いようがありません。余暇の時間に自分の好きな少林寺拳法をして、さまざまな職業を持つたくさんの人と出会い、同じ志をもつ仲間との交流を深め、仕事以外にも豊かな人間関係ができ、人生も楽しく充実したものになる。そしてこの経験が、これまでの教師としての仕事にも生かされているように感じています。

最初に言いましたが、余暇時間の使い方は人それぞれで、何が余暇につながるか分かりません。周囲の迷惑になるようなことは困りますが、まずは自分の好きなことで余暇を過ごしてみてください。楽しかったら続ければいいですし、そうでなければまた別のことをやってみてください。でも、一つのことを根気よく続けるのもいいですよ。余暇時間が、みなさんの人生に豊かさをもたらしてくれることを願っています。

小学部

7月6日に「生活習慣スクールキャラバン」が本校体育館で開かれ、小学部から1, 2, 5年生が参加しました。「生活習慣スクールキャラバン」は、望ましい生活習慣の実践に向けた啓発活動として行われているものです。夜更かししたために元気が出なくなった子のお話「にこにこげんきのおまじない」の絵本をスクリーンで見たあと、オリジナル楽曲の「生活習慣☆リズム感♪」をmimikaさんたちと踊りました。



終わった後、夜更かしする日が多い児童が「早く寝た方がいい」と言う気持ちになったという感想が聞かれました。より良い将来に向けて、少しでも多くの児童に早寝早起きの習慣がついてくれること期待します。



(「生活習慣☆リズム感♪」の動画はyoutubeで検索すると視聴できます。)

中学部

前期作業週間：6月19日(月)～23日(金)

「園芸班」では、野菜の収穫や販売、さつま芋の苗の定植、土づくり、堆肥置き場の整備、草抜きなどに取り組みました。個人目標を設定し、毎日意識して取り組みました。今年は晴れの日が多く、暑さが厳しかったようです。熱中症に気を付けて取り組みました。「手芸班」では、羊毛をニードルでまとめる作業や、丸めた羊毛をカプセルに入れて振り、フェルトボールを作る作業に取り組みました。細かい作業に苦戦しながらも、若竹祭でたくさん製品を買ってもらうことを楽しみに、根気よく作業に取り組むことができました。「紙加工班」では、牛乳パック切りやラミネートはがし、紙ちぎり、紙すきといった様々な作業を役割分担して取り組みました。それぞれの目標作業量を意識しながら毎日真剣に取り組み、作業も報告も上達することができました。「受注班」では、ペットボトルのラベルはがし、ペットボトル・空き缶つぶし、ペットボトルのキャップの洗浄・分別、ベルマークの仕分けの分担された作業に個別に取り組みました。どの生徒も時間いっぱい取り組み、正確に作業をしていく意識をもつこともできました。



園芸班
堆肥置き場の整備をしています。

手芸班
ニードルという針で羊毛を刺してまとめています。



受注班
ペットボトルのキャップの分別をしています。



紙加工班
牛乳パックから作った材料で紙すきをしています。





高等部



1年 前期校内実習（職業週間）

高等部1年生は「一步 ふみだそう Let's チャレンジ!!」の全体目標のもと、6月19日(月)から6月30日(金)までの2週間、校内実習に取り組みました。各自「疲れても時間いっぱいがんばる」「あいさつ、返事、報告をはっきり言う」「手元をよく見て作業に取り組む」などの目標を立て、校内作業としてボールペンの組み立て・分解、電線の分解、園芸作業、陶芸作業、リサイクル作業、清掃作業に取り組みました。また、校外作業として長尾寺での清掃作業に取り組みました。

最初の3日間は、ボールペンの組み立て・分解の作業、電線の分解作業に取り組みました。ボールペンの組み立て・分解作業は、職業能力アセスメントとして毎年1年生が実施しているもので先輩たちに組み立ての方法を教えてもらったり、先輩たちのデータを見たりすることで、見通しをもって取り組み、自分の力を試すことができました。慣れない立位での作業で疲れが見られることもありましたが、日を追うごとに正確に作業したり、スピードアップしたりすることができました。また、様々な作業を体験することで、自分の得意なことや苦手なことにも気付くことができました。

今後は、課題を整理して、後期校内実習（職業週間）や2年生になったの現場実習に臨むための姿勢づくりや準備につなげていきたいと思います。



<ボールペンの組立>



<園芸作業>



<陶芸作業>



<リサイクル作業>



<校外作業>

2年 前期現場実習

高等部2年生は、6月19日(月)から30日(金)までの2週間、現場実習を行いました。今回の実習は、**「完全燃焼」**を合言葉にこれまでの学習で身に付けた力を、実際の職場でどれだけできるかを試しました。

それぞれの実習先で一人ひとりがもてる力を出し切り、自分の立てた目標を達成できるように取り組みました。実習期間中は、普段の生活よりも緊張や疲労で体調を崩してしまうこともありましたが、無事実習を終えることができました。この実習を踏まえて、できたことや課題が見つかったので今後の現場実習や学校生活につなげていきたいと思います。

<お世話になった実習先>

株式会社パック三樹



段ボールの型抜きやバリ取りをしました。

マルナカ長尾店



品出しや野菜の袋詰めなどをしました。

東かがわ市役所



郵送書類の封入や書類の確認などをしました。

香川大学農学部附属農場



牛のえさやりや野菜の収穫などをしました。

氷上ファクトリー



Tシャツの梱包やウォーターサーバーの洗浄をしました。

朝日平成園



ボルトナットの仕分けをしました。

障害者支援施設のぞみ園

利用者の方々とラジオ体操や様々な自立課題に取り組みました。

3年 前期現場実習



高等部3年生は6月12日（月）から6月30日（金）までの3週間、それぞれの進路決定に向けて、希望する実習先で現場実習に取り組みました。初めての個別実習は、自宅から通勤、友達や先生がそばにいない等これまでの実習と異なる点も多く、不安もあったと思います。しかし、実習を通して、卒業後の生活がどんなものか、生徒も保護者の方も少しイメージすることができたのではないかと思います。今回の実習の成果と課題を後期現場実習につなげていきたいと思います。

＜お世話になった実習先＞ いくつかの作業例もあわせて紹介します。

就労継続支援B型

SCC昭和町 SCC西宝町 SCCはやしもえぎの里 コンサフォス あじさいほのぼのワークハウス サン ぎんせいワークせんり すてっぷ 朝日園



【パンの陳列】

袋詰めしたパンを種類ごとに並べました。商品として丁寧に扱うことに気を付けました。

【箱の組み立て】

補助具を使って支えながら、箱の組み立てをしました。集中して丁寧に取り組むことを頑張りました。



【農作業】

職場の方に教えていただき、収穫に適したきゅうりを選んで収穫することができるようになりました。



就労継続支援A型

ほまれの家

【弁当の盛り付け】

弁当のおかずを同じ量になるように気を付けながら、盛り付けました。作った弁当を職場の方と一緒に配達にも行きました。



生活訓練・就労移行支援

かがわ総合リハビリテーション事業団



【封入作業】

書類を封筒に入れ、テープで留めました。テープの長さや真っ直ぐに貼ること、しわがないようにすることなどに気を付けて取り組みました。

一般就労

特別養護老人ホームゆたか荘 株式会社広真
キャスコ株式会社 帝國製薬株式会社



【製本作業】

製本機に印刷物を入れていく作業をしました。機械に詰まらないように、量を加減しながらきちんと揃えて入れることができました。

【ゴルフボールの焼芯作業】
機械にゴム材を入れて熱し、ゴルフボールの芯を作る作業をしました。手順を覚え、一人で作業できるようになりました。



生活介護

もえぎの里 コンサフォス トライアングル



【銅線外し】

コイルに巻かれた銅線を外す作業をしました。根気よく続けて取り組むことができました。

【メモ帳作り】

職場の方と一緒に、裁断機を使って紙を切ったり、2穴パンチで穴をあけたりしながらメモ帳を作りました。



進路指導部

高1・2年生保護者進路研修会

7月7日（金）、高等部1、2年生の保護者対象の研修会を行いました。今回は、生活介護・就労継続支援B型事業所「のぞみ園」、生活訓練・就労移行支援事業所「かがわ総合リハビリテーション事業団成人支援施設」の2事業所の方に来校いただき、高等部卒業後の福祉サービスを利用した生活支援や就労支援についてご講話いただきました。各サービスの概要から、それぞれの事業所における日中活動の取り組み、また、社会に出て「働く」ために必要な力の育成について分かりやすくご説明いただき、大変有意義な研修ができました。



がんばる卒業生紹介！



進路先で話を聞きました

☆ W. M さん（令和3年度卒業生）

進路先

- ・株式会社藤本造船鉄工所（一般就労）

勤務時間や日数、休日、通勤方法

- ・8：00～16：45（日、祝日、第1、3土曜日休み）
- ・電車、バスを利用しての通勤

主な業務内容

- ・造船作業の補助
（サンダーを使った研磨作業、プレートの切断等）

今の本人の気持ち

- ・船が出来上がっていくところに自分が関われていることが嬉しく、仕事にやりがいを感じている。職場の方が食事に誘ってくれ、「困ったことがあれば言ってよ。」と相談に乗ってくれるおかげで、仕事も生活も順調にできている。グループホームでの生活も、掃除などは世話人さんに助けをもらいながら、自分でできることを増やして頑張っている。

休日の過ごし方

- ・好きな映画を観に行ったり、ゲームセンターで遊んだりしている。お給料では、好きなアニメのグッズを買っている。

後輩へのメッセージ

- ・部活動はしんどいこともあるけれど、友達と協力して頑張ってもらいたい。作業は、日々の積み重ねなので、あきらめずに挑戦してください。

職場の方の声

- ・任された仕事は手を抜くことなく真面目に取り組んでくれている。任された仕事の他にも、自分から気付いて、他の仕事の指示を願い出ることもできるようになった。職場の人ともコミュニケーションをとることができ、良い関係を築くことができている。（代表取締役F様）

